

患者さまと井上眼科病院をつなぐ「眼」の情報ペーパー

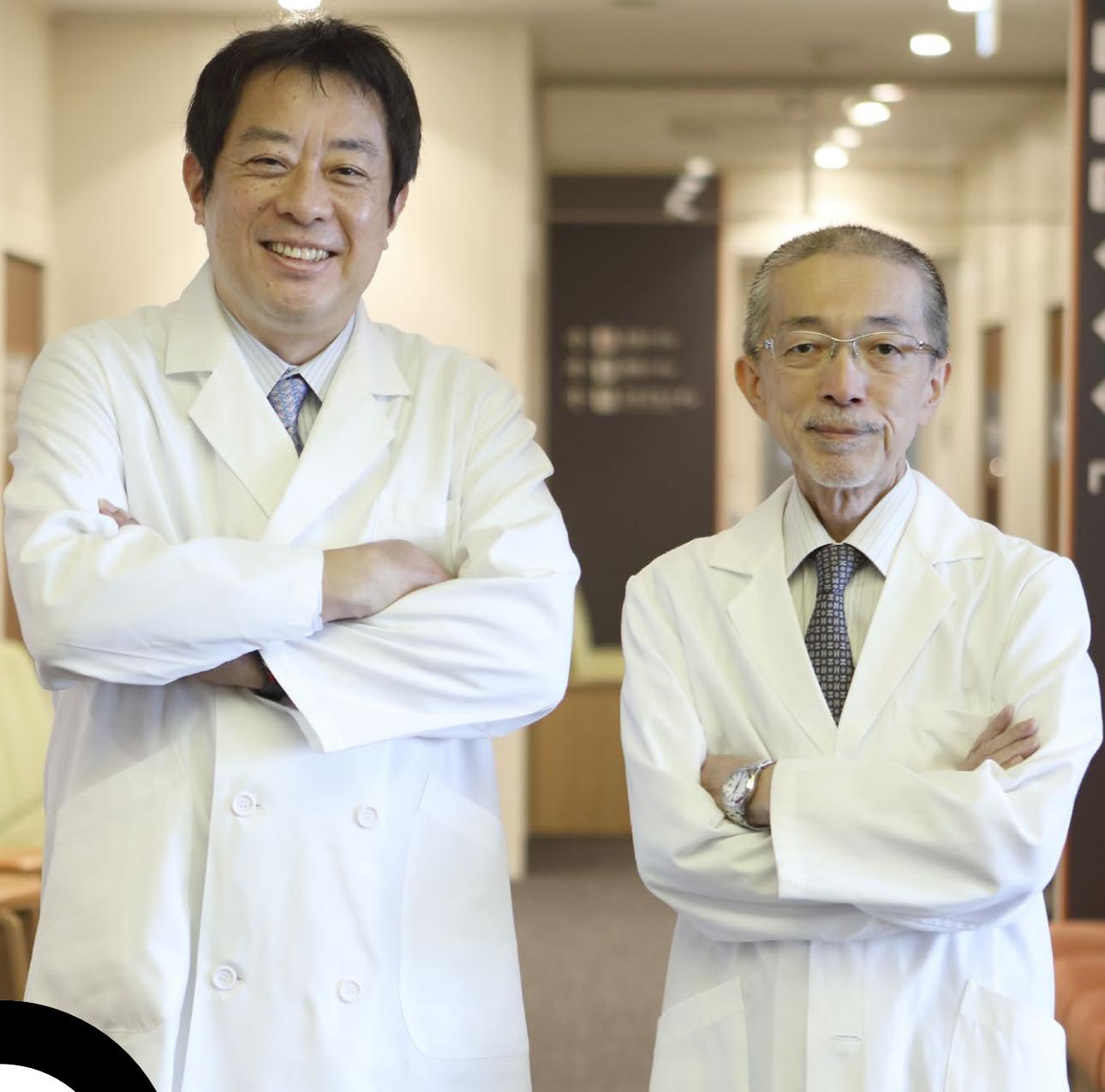
INOUYE EYE Note

森院長が案内する「日帰り白内障手術」体験ツアー

先生の、見つめてきたもの〈vol.15〉 森先生
同門会だより〈眼科中井医院〉

2025
WINTER
vol. 131

ご自由にお持ちください。



井上眼科だより



医療法人社団 清安堂
井上眼科病院グループ
INOUYE EYE HOSPITAL GROUP

ホームページからもご覧いただけます。

大宮クリニック・森院長が案内する 「日帰り白内障手術」体験ツアー

井上眼科病院グループでは年間 8,000 件以上の白内障手術を行っており、その半数は日帰りの手術です。「そろそろ手術を…」とご検討の方もいらっしゃるかと思います。今回は、実際に手術が決まってからの流れを、大宮クリニックの森院長がご案内していきます。

※検査の流れは一例です。眼の状態などによって異なります。



大宮・井上眼科クリニック 森樹郎院長

01

手術前の検査

通常の視力検査に加えて、眼軸長検査（角膜から網膜までの長さを調べる）、眼底検査（網膜や視神経に異常がないか調べる）、角膜内皮細胞検査（角膜の透明性を保つ角膜内皮細胞の数を調べる）などを実施します。また、安全に手術が行えるかどうか全身状態を調べるため、心電図や血液検査なども行います。これらの検査結果をもって、眼内レンズの種類や度数を決めていきます。

IOL マスター

眼内レンズ（IOL）の度数を正確に計算するための検査機器。

直接、目に触れることなく角膜のカーブ具合、角膜から網膜までの長さなどを調べることができます▶



02

手術日まで



手術 3 日前から、感染予防のために処方された 2 種類の点眼薬を 1 日 3 回さしてください。

点眼薬は手術日の朝までさすようにしましょう。術後の眼内炎のリスクを抑えることができます。

03

手術当日



服の上から手術着を着用するため、襟元に余裕のある服装でいらしてください。手術後は眼帯をしたまま着替えるので、「前開きの服」が便利です。準備をしたらいざ出発です！

point

手術後はしばらく洗髪・洗顔ができません。
当日は化粧や日焼け止めを控えましょう。



このような手術着を着用します▶

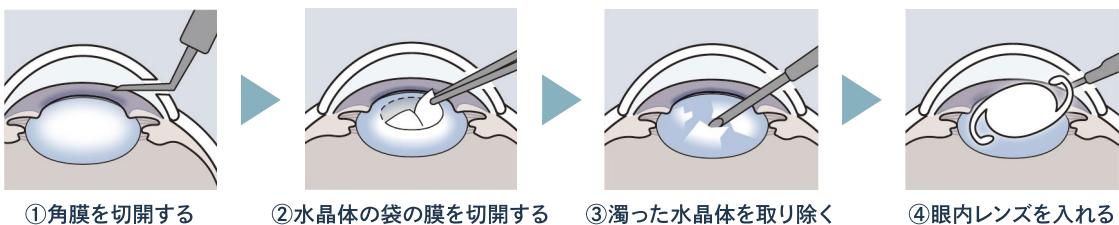
04

いよいよ手術室へ

手術にあたって、瞳孔を開く目薬を点眼したり、血圧測定などを行い全身の状態を確認します。洗顔後、消毒薬で眼を消毒し、顔を清潔なドレープで覆ったら手術スタートです。手術は眼の状態によりますが通常10分程度（片眼）で終了します。点眼麻酔により、手術中の痛みはほとんどありません。眼に水をかけながら手術をしていくので少し冷たく感じます。手術中は顔を動かさないで正面の光を見ているようにしてください。痛みや咳などがあるときは、医師に声をかけてください。



白内障手術の流れ


point

手術後は血圧測定などのチェックを行いリカバリー室で30分ほどお休みします。
翌日の診察が終わるまで眼帯はつけたまま過ごしてください。

05

手術翌日からは

手術翌日は視力検査や眼の状態を確認するために診察を行います。問題がなければこの日から眼帯は不要です。感染防止のため点眼薬を処方します。手術時の切開創は数ミリですが、これがしっかりと閉じるまでには1～2週間くらいかかります。最低でも1週間は保護メガネをつけて眼をこすらない、ぶつけないように注意してください。術後1週間、1カ月、3カ月の頻度で定期検査を行います。手術の翌日から「首から下の入浴」が可能です。術後6日目から洗顔・洗髪が出来るようになります。それまでは水や汗が眼に入らないように注意をしましょう。



大宮クリニックでは白内障手術と同時に行える「緑内障手術（iStent）」も開始！

白内障手術の際にできる創口から、極小のステント（0.36mm）を線維柱帶に埋め込む手術です。眼の中を満たす房水の排出を促進させ、眼圧を下げる効果が期待できます。白内障手術と同時に行えるため、手術時間も短く、患者さまの体の負担が少ないというメリットがあります。

第35回日本緑内障学会にて 井上眼科グループの研究成果を発表しました！

2024年9月20日から22日に兵庫県姫路市・アクリエひめじにて、第35回日本緑内障学会が開催されました。井上眼科病院からは、シンポジウム、教育セミナー、一般口演、ポスター発表にて、日頃の研究成果を発表しました。まだまだ猛暑の姫路で、熱い討論を交わし、新しい知見を得て、実りの多い学会になりました。今回、学術展示（ポスター）部門では、50近くのポスターの中から井上賢治理事長の発表が「優秀ポスター賞」に選出、また小林大航医師も口演にて「座長賞」を受賞いたしました。

井上賢治理事長が優秀ポスター賞を受賞



井上理事長（左）と第35回日本緑内障学会会長/神戸大学医学部眼科学教室 中村教授（右）

どんな研究？－「緑内障患者における視野障害部位によるアイフレイル自己チェック」

井上眼科病院にて緑内障（特に原発開放隅角緑内障）の患者141名を対象に、視野障害の部位と「アイフレイル自己チェック」との関係を調べました。その結果、視野障害が両眼の上下にある患者は、上方にしかない患者に比べて、「段差や階段が危ない」と感じることが多いことがわかりました。特に、段差や段差を歩くときには下方の視野が重要であるため、下方に視野障害がある患者は転倒に注意が必要であることを示しました。

小林大航先生が口演で「座長賞」を受賞



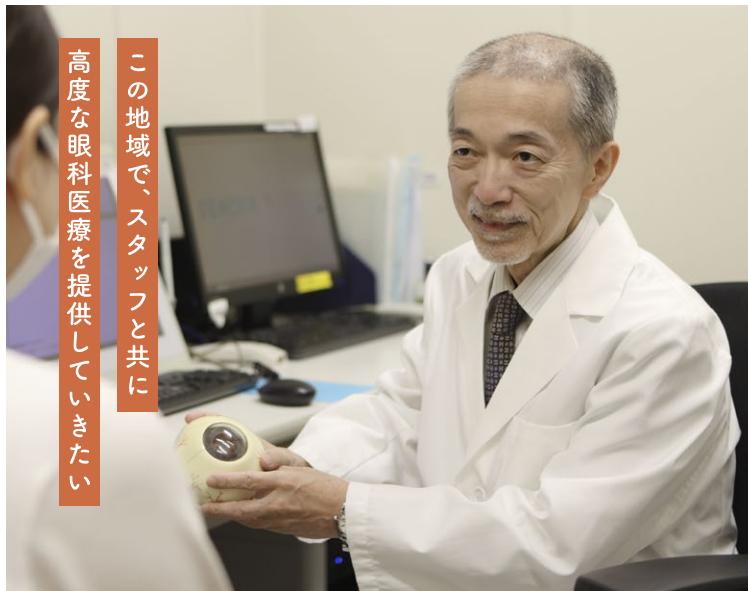
どんな研究？－「多施設での緑内障患者の実態調査 2024年版 - 薬物治療 -」

当院グループを含む82の医療機関に協力いただき、緑内障と高眼圧症の患者について調査を行いました。調査対象は6,323例（6,323眼）で、緑内障の病型や治療薬の使用状況をまとめました。その結果、最も多い緑内障のタイプは正常眼圧緑内障で45.6%、次いで原発開放隅角緑内障が33.0%、続発緑内障が7.8%という順番でした。当院での緑内障調査は4年ごとに行われており、緑内障治療の現状を把握する点で高く評価されました。

井上眼科グループの発表

- ▶シンポジウム8 今そこにある緑内障薬物治療の光と影
 - ・SY8-1 薬物の眼圧下降のエビデンス（井上賢治）
- ▶教育セミナー4 患者のwell-beingを目指した緑内障診療とは?
 - ・E4-5 緑内障とロービジョンケア（國松志保）
- ▶一般口演16（薬物治療）
 - ・16-1 多施設での緑内障患者の実態調査（小林大航）
 - ・16-2 RBFCへの6ヵ月間治療強化（塩川美菜子）





2024年6月に
大宮・井上眼科クリニックの
院長に就任した森先生。
これまでのキャリアや、
診療にかける思いを聞きました。

森 樹郎

Mikiro Mori

大宮・井上眼科クリニック院長

東京大学医学部医学科卒業。ルイバスクール大学（フランス）研究員、虎の門病院眼科部長などを経て、2024年6月より大宮・井上眼科クリニック院長に就任。専門は白内障手術、硝子体手術、緑内障眼内ドレン手術。

人間そのものを対象とする医学の道へ

子どもの頃は、外で遊ぶよりも、図鑑を読んだりレゴやゲームをすることが好きでした。ガキ大将のような男子が苦手で、女子と遊ぶことの方が多かったように思います。

医師を志したのは、高校2年の頃。当初は、英語や文化・芸術といった分野に興味がありました。その方面に進むべきか悶々としていました。結局は人間そのものを対象とし、人文的な要素も含んだ実践科学である医学を選びました。森鷗外や阿部公房、今だと養老孟子さんなど、医師でありながら文学など芸術に携わる人が多いイメージもあり、医学という学問に興味を惹かれたこともあります。

自分を育ってくれた患者さまとの信頼関係

手先は器用な方だったので、マイクロサージャリー（顕微鏡などを使う微細な外科手術）ができる分野に興味がありました。また、眼は人体の中で最も美しい臓器だと思っていたので、その手術に魅力を感じて眼科を選びました。

眼科の道に進み、最初は緑内障グループで房水動態の研究、学位取得後は分子生物学に興味が移り、専門を網膜に変えました。留学から帰国後は研究から一転、網膜硝子体手術にのめり込みました。その頃は週3日は電車で帰る日々。修行と思い、死に物狂いで診療に当たりました。虎の門病院に赴任した頃は、硝子体の手術医としての私はまだ駆け出し。難症例では技術の未熟さに直面しながらも、患者さまとの信頼関係が私を支えてくれました。私を育ってくれたのは患者さまだと痛感しています。

井上眼科の一員として、思うこと

2024年の6月、大宮・井上眼科クリニックの院長に就任しました。眼科といえば「井上眼科」と言われるほどのブランド病院。患者さまからの高い評価と強い信頼は、日々の診療からも感じます。各分野に一流のドクターとスタッフが揃い、今の時代がなし得る最善の眼科医療が行える病院だと思います。

グループの一員として、その名に恥じないクリニックを運営することは大きな喜びであり、またその責任の重さに身が引き締まる思いです。大宮近隣とさらに北関東を含めた地域で、高度な眼科医療を提供することは極めて意義深いものです。多焦点眼内レンズを用いた白内障手術、緑内障・網膜硝子体疾患への手術治療などをさらに充実させたいと考えています。

我が国は前例のない高齢化社会になりました。健康寿命を伸ばす上で視機能の維持はこれまで以上に重要です。眼疾患は早期発見と適切な治療が大切です。人生百年を謳歌するため共に頑張りましょう。



高校1年まで習っていたピアノを再開。さすがに40余年のブランクは大きく、凹むことも多いですが下手の横好きで続けています。

【第35回】 同門会だより

全国で活躍中の井上眼科OBの先生方をご紹介！

医療法人社団 眼科中井医院

中井 倫子 院長・理事長

2004年～2007年 西葛西・井上眼科病院在籍
2007年～2013年 眼科中井医院 副院長
2013年～ 眼科中井医院 院長

今回ご紹介するのは、神奈川県横浜市の「眼科中井医院」院長 中井倫子先生です。中井先生は、西葛西・井上眼科病院の一般眼科で、白内障から網膜硝子体まで幅広い症状の診察を担当。その経験を踏まえ、早期発見に向けた緑内障診療や子どもの弱視治療などの小児眼科に注力されています。「西葛西・井上眼科病院で勤め始めた頃は眼科医として経験も少なく、患者さまの診療や先生方から多くのことを学ばせていただきました。当時の経験が私の土台となっています」（中井



たまプラーザ駅から徒歩3分



中井院長（左）と
当院の井上（右）

院長）。祖父の代から眼科の家系で育った中井先生は、眼の臓器としての美しさや、眼科検査に興味を持ち、眼科医の道へ。2013年に院長を引継ぎ、日々診療に取り組まれています。「お子様からご高齢の方まで幅広い年齢層の方がいらっしゃいます。なるべく初診時には検査を全部するようにしています。緑内障の疑いの方にはOCTや視野検査も随時行っています。眼でお困りのことがありましたら、ちょっと相談してみようという気持ちでお気兼ねなくご来院ください」（中井院長）。

クリニック情報

医療法人社団
眼科中井医院

〒225-0002
神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-14-7

TEL. 045-905-5777

<http://www.nakai-eye.ecweb.jp/index.htm>

INFORMATION

お茶の水 耳鼻咽喉科・眼科セミナーを開催しました

11月22日、耳鼻咽喉科の専門病院である神尾記念病院と合同し、第9回お茶の水 耳鼻咽喉科・眼科セミナーを開催しました。当院からは砂川広海副院長（井上眼科病院）が「白内障と認知症」を発表。白内障手術により視覚関連のQOLが良くなり、認知機能が改善した最近の研究などを紹介いたしました。どちらもお茶の水で100年以上の歴史を誇る数少ない専門病院。お互いに最新の知見に触れ、「目・耳・鼻」とそれぞれの専門領域を高める良い機会となりました。



他病院との連携を深め、積極的な情報交換を行うことで、日々の診療に活かしています。

札幌 医師を目指す中学生が職場体験に

10月、札幌・井上眼科クリニックに北海道教育大学附属札幌中学校の生徒さんが職場体験にお越しくださいました。中学2年生の総合学習の一環として、医師を志す3名の生徒さんが参加。そのうちの1名は特に眼科医に強い関心を持っており、皆さん医療の現場を熱心に見学されていました。酒井院長は「白内障手術を受けた患者さまが『見やすくなった!』と喜んでくださる瞬間に、やりがいを感じます」と語り、生徒さんたちは真剣な表情で耳を傾けていました。この貴重な体験が生徒さんたちの夢への第一歩となり、さらに強い意志や目標へつながっていくことを、スタッフ一同心より応援しております。



院長の話を熱心に聞く生徒さん。その姿に、当院スタッフも大きな刺激を受けた1日となりました。



医療法人社団 済安堂

井上眼科病院グループ

INOUE EYE HOSPITAL GROUP

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-3

新お茶の水ビルディング 18階

[https://www.inouye-eye.or.jp/](http://www.inouye-eye.or.jp/)

井上眼科だより vol.131 | 井上眼科病院グループ広報誌 2025年1月1日発行 | 編集・発行／井上眼科病院 経営企画部 広報課

今月の表紙

森院長と、大宮での診療を終えた井上理事長。お二人揃って撮影にご協力いただきました。